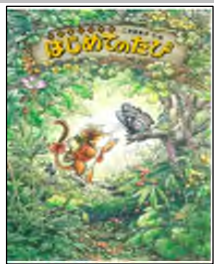




11月15日(水)に今年度第5回の読み聞かせをおこないましたので、お知らせします。

1-1 小さなビスケのはじめてのたび



作・絵：二木 真希子
出版社：ポプラ社/1993年
担任の、天野京子先生が読んでくださいます。

1-2 おれたちはパンダじゃない



作：サトシン
絵：すがわら けいこ
出版社：アリス館/2011年
支援員の、東谷あずさ先生が読んでくださいます。

1-3 ねえ、どれがいい？



作：ジョン・バーニンガム
訳：まつかわ まゆみ
出版社：評論社/1983年
「ねえ、どれがいい？」と問いかけながらページをめくる絵本です。どの問いもとてもおもしろく、とんでもない選択ばかり。わくわくしながら読み進められる一冊です。

(三澤 文美佳)

1-4 ひみつのさくせん



作：ニコロ・カロツィ
訳：橋本 あゆみ
出版社：化学同人/2022年
ネコにねらわれた金魚。ねずみが勇気をだして金魚を助けるさくせん実行。やさしい絵ですが、ドキドキする一冊です。

(佐藤 祐子)

2-1 くんちゃんのだいいょうこ



作・絵：ドロシー・マリノ
訳：石井 桃子
出版社：岩波書店/1961年
くまのくんちゃんは、とりに みなみのくに をおしえてもらいます。くんちゃんも みなみのくに に行きたくて、おかあさんにおねがいするのですが..

(飯村 愛子)

2-2 ほくのともだち おつきさま



作・絵：アンドレ・ダーハン
訳：きたやま ようこ
出版社：講談社/1999年
おつきさまと、おもいがけない出会いでともだちになったほく。ともだちってステキだな、とおもえるおはなしです。

(西澤 美穂子)

2-3 だれのパンツ？



作：シゲリ カツヒコ
出版社：KADOKAWA/2019年
公園であそんでいるとつぜん、頭の上に大きなパンツが落ちてきた。これはいったい誰のパンツ？もち主を探すために団地内を冒険するタロウ。どんな人がいるかな？

(前島 由佳)

2-4 ぶたくんと100ぴきのおおかみ



作・絵：宮西 達也
出版社：鈴木出版/1991年
ぶたくんが もりのそばをとおりかかると、だっだっだっどどど・ととびだしてきたのは100ぴきのおおかみ。あつというまにとりかこまれてしまったぶたくん。どうなるのかな。

(坂本 香奈)

3-1 ほしじいたけ ほしばあたけ



作：石川 基子
出版社：講談社/2015年
いろいろなきのこが暮らすきのこ村は、いつもにぎやか。ほしじいたけ と ほしばあたけは、みんなから愛されています。ユーモアと驚きたっぷりのおもしろいお話です。

(有村 菜摘)

3-2 くまの楽器店



作：安房 直子
絵：こみねゆら
出版社：小学館/2009年
野原の真ん中に、くまの楽器店がありました。かんぱんには、「ふしぎや」とかかれています。ここではふしぎな楽器がたくさんありました。

(平野 円香)

3-3 ほしのおうじさま



原作：サンテグジュペリ
作：ルイーズ・グレッグ
絵：サラ・マッシーニ
訳：福本 友美子
出版社：主婦の友社/2021年
ある日 目の前に現れた小さなおうじさま。いろいろな星を旅する中で彼はあることに気がきます。心がふわっとあたたまる、優しい絵本です。

(千田 志織)

3-4 バムとケロのそらのたび



作：島田 ゆか
出版社：文溪堂/1995年
ひこうきに乗っておじいちゃんに会いに行くことになったバムとケロ。その道中あんなことやこんなことが！無事に会うことができたのでしょうか。

(石山 マリ子)

